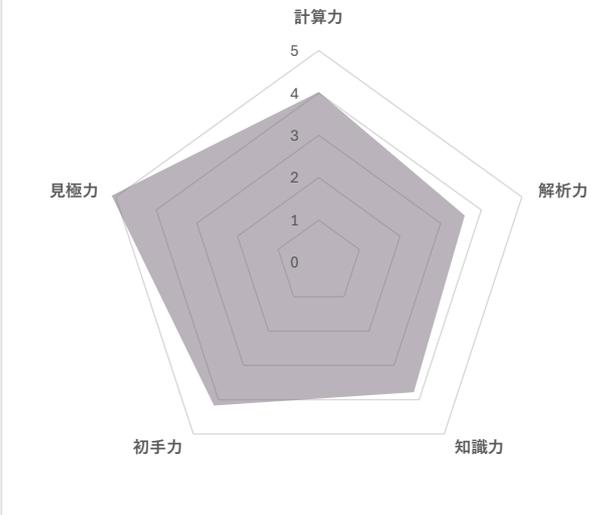


総合分析

試験区分 一期

制限時間 70分 (2科140分) 大問数 全 4 問

合格に要する能力 (5段階)



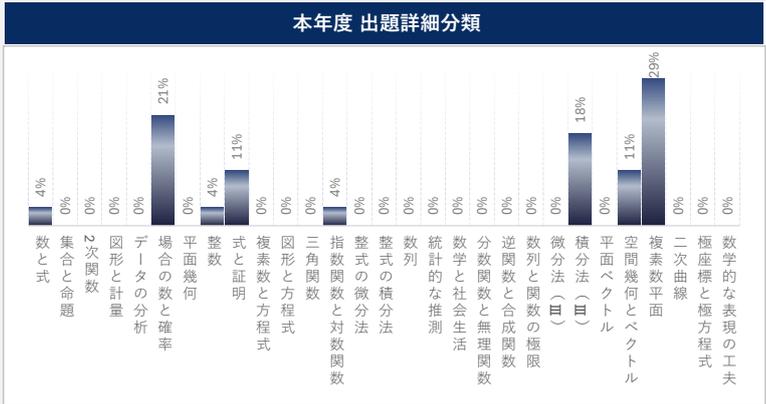
合格に要する能力 (5段階)		
計算力	3.8	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.4	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.6	解くことに必要な知識の量
初手力	4.0	初手の難しさ
見極力	4.9	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学 I	4%
数学 A	25%
数学 II	14%
数学 B	0%
数学 III	18%
数学 C	39%

本年度 解答形式
答えのみ記述 100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	複素数平面
第 2 問	小問集合
第 3 問	空間幾何
第 4 問	確率の最大



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価			
難度	4.1	最難を5とする問題自体の難度	難しい
分量	110分	完答に要する時間 (制限時間は70分)	多い
一次合格に必要な正答率 (予想)			56%
			標準

入試の特徴と対策
強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校数学の学習でよい。

入試から見る大学が求める学生像
比較的解きやすい問題も含まれているものの全体としては解きづらい問題が多く、難化した。解きやすい問題を選択する選択力と、選択した問題に対して正しい解法を選択できるだけの学力のある学生を求めていると考えられる。